

事業所名

そら豆キッズ【放課後等デイサービス】

支援プログラム

作成日

7年

1月

31日

法人（事業所）理念		『ひとりひとりひかる』 人は皆、ひとりひとりに「違い」があります。その「違い」は、その人全体の価値を決めるようなことではありません。しかし、その「違い」はその人がその人らしく生きていくうえで、「障害」となることが多くあります。私たちは、「障害」がその人にあるのではなく、その人が生きる社会にあるのだと考えています。私たちは、どんなに大きな「違い」があろうとも、その「違い」を認め、それぞれの自己実現を尊重し、できる限り楽しく、豊かに生きていけるための活動を行います。その活動を通して「人が人を理解する」ということの意味を考え続け、どんな人も受け入れて、共に生きる地域づくりを目指します。							
支援方針		子どもたちが、「わかる」「できた」「やりたい」と思えるよう、発達状況に応じた様々な遊びや活動を提供していく中で、他者との関わりや楽しい経験を積み重ね、日常生活の充実だけでなく、次のステージへ期待を持って進んでいけるよう支援していきます。							
営業時間		月～金曜日	13時	30分から	18時	00分まで	送迎実施の有無	○あり	なし
		土曜日	10時	00分から	16時	00分まで			
		学校休業日 (月～金曜日)	13時	30分から	18時	00分まで			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	発達段階や障害特性、支援の量などに配慮し、学校卒業後の生活を見据えた生活スキルや職業スキルの練習、余暇の充実を図る。理解が進み、様々な遊びや活動に主体的に参加できるよう、生活環境/活動環境を整える。							
	運動・感覚	姿勢保持や生活動作、移動能力、道具の扱い方、模倣する力などが向上できるよう、活動内容及び提示方法の工夫、道具の調整などを行う。感覚の特性に配慮した、環境等を調整する。							
	認知・行動	スケジュール・手順書などの情報や獲得している概念を手掛かりに、主体的に行動できるよう取り組む。基本の概念やスキルの習得の継続や獲得していることを活かせるよう、個々の課題に留意しながら、自立課題や活動の設定などを行う。							
	言語 コミュニケーション	言語、絵カード等の視覚的なツール、サイン、リマインダーなど、個々のできる方法で適切な表出(要求、救援、拒否、選択、情報請求など)ができるよう、個々の発達段階や障害特性等に合わせた支援を行う。場面や状況に応じた対応や相互のコミュニケーションが図れるよう、障害特性等に合わせた、支援や支援量を調整する。							
	人間関係 社会性	自己理解や他者理解が進み、自分の意見などを伝える、他者の意見などを聞く、相談する、交渉するなど、個々の社会性の発達に応じた関わり、機会や活動の設定などを行う。学校卒業後の生活を見据え、集団生活/集団活動のマナーやルールなどを理解していくとともに、安心して過ごせる関係性の中で活動に取り組めるよう配慮する。							
家族支援		家庭や保育園・幼稚園、事業所の生活の中での成長や課題などを情報共有し、必要な相談援助を行う。				移行支援		保育園・幼稚園、学校、事業所との情報共有や会議への参加、保護者への必要な情報提供・相談援助などを行う。	
地域支援・地域連携		各関係機関との連絡調整及び情報共有、サービス担当者会等への参加、自立支援協議会への参加、障害児等療育支援事業への参加などを行う。				職員の質の向上		法人/事業所内の研修及び外部研修への参加、定期的な会議等の開催(支援の振り返り及び検討等)を行う。	
主な行事等		誕生日祝い、クリスマスイベント、外出企画、季節に応じたプログラムの提供							